内装ドア　現行ベリティスハンドル同士の互換性について

［2025.12.17更新］

下記表の見方・・・　**同じデザインのハンドル同士の場合**ご利用ください。

異なるデザインでの互換性については、P.2の「異なるデザインのハンドルに変更したい場合」 をご確認ください。

現状のハンドル・錠タイプ ＼ 希望する錠・ハンドルタイプ（写真例：A1ハンドル↓）	空錠	表示錠 一体型	間仕切り錠	表示錠 ｻﾑﾀｰﾝ式	ｷｰ付き錠	本締錠
空錠 		①	①	②	②	⑥
表示錠 一体型 	①		①	③	③	
間仕切り錠 	①	①		③	③	
表示錠 ｻﾑﾀｰﾝ式 	④	④	④		⑤	
ｷｰ付き錠 	④	④	④	⑤		
本締錠 	⑦					

①ハンドルを交換すれば　変更可能。枠はそのまま利用可能

②扉に錠の加工（※1）をすれば　変更可能。枠はそのまま利用可能

注：A1～3型･A7型で加工①➡②に変更する場合で、扉の生産日が2025年8月以降の場合、ラッチケースの交換も必要になります。（必要なラッチケース品番：MJH70403）

③空錠のハンドルを手配し、交換。錠前を手配し、扉に錠の加工（※1）をすれば可能。枠はそのまま利用可能。

注：A1～3型･A7型で加工①➡③に変更する場合で、扉の生産日が2025年8月以降の場合、ラッチケースの交換も必要になります。（必要なラッチケース品番：MJH70403）

④扉に錠の加工が残るので、扉の再手配が必要。枠はそのまま利用可能

⑤錠部分のみ再手配し現場で付け替え。ハンドル･枠はそのまま利用可能

⑥芯材が要るので、扉の再手配が必要。枠に本締錠の錠受けを現場取り付け必要

⑦扉と枠に加工が残るので、枠と扉どちらも再手配が必要

※1　錠の加工寸法はP3～参照

内装ドア　現行ベリティスハンドル同士の互換性について

下記表の見方・・・異なるデザインのハンドルに変更したい場合　ご利用ください

手順1 ハンドルデザイン・錠タイプの確認　**手順2** 扉加工穴の確認

※ハンドルや錠の種類により、扉の加工穴が異なります。

デザイン ＼ 錠タイプ	空錠	表示錠	間仕切錠	・表示錠サムターン式 ・キー付錠
A1 A3 A2 A7	加工穴①			加工穴②
K1 K3 K2 （生産終了品）	加工穴③	加工穴④		
N1 N2	加工穴⑤			
P1 P2 P4	加工穴①	加工穴②		
P3 P5	加工穴⑥			
A5 A6	加工穴①	加工穴②		
B1 B2	加工穴⑦	加工穴⑧		

手順3 ハンドル交換可否の確認

（○：交換可能、△：現場で穴加工追加すれば可能、×：交換不可）

（現場責任・加工図は次ページ以降）

変更前 ＼ 変更後	加工穴①	加工穴②	加工穴③	加工穴④	加工穴⑤	加工穴⑥	加工穴⑦	加工穴⑧
加工穴①	○ ※1	△ ※1※2 ※穴加工必要	×	×	×	△ ※1 ※穴加工必要	×	×
加工穴②	×	○ ※1	×	×	×	△ ※1 ※穴加工必要	×	×
加工穴③	×	×	○	△ ※穴加工必要	×	×	×	×
加工穴④	×	×	×	○	×	×	×	×
加工穴⑤	×	×	×	×	○	×	×	×
加工穴⑥	×	×	×	×	×	○	×	×
加工穴⑦	×	×	×	×	×	×	○	△ ※穴加工必要
加工穴⑧	×	×	×	×	×	×	×	○

※1： A5、A6型⇔A1～A3 型⇔ P1、P2、P4型へ変更する場合はラッチケースの交換も必要になります。（品番はカタログ参照）

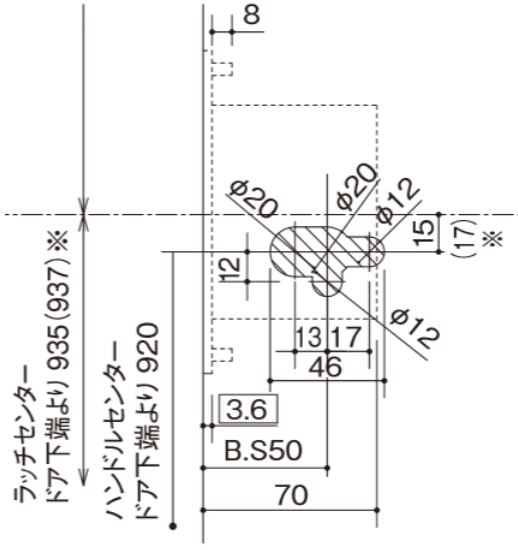
※２：A1～3型・A7型で加工①➡②に変更する場合で、扉の生産日が2025年8月以降の場合、ラッチケースの交換も必要になります。

（必要なラッチケース品番：MJH70403）

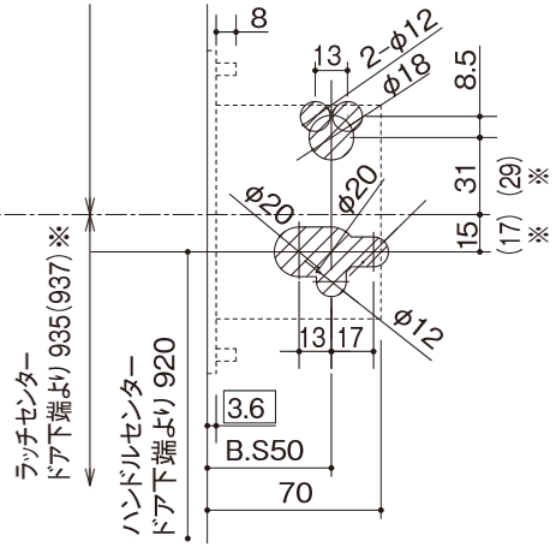
扉加工穴 詳細図

扉加工穴①

■対応ハンドル:A1型・A2型・A3型・A5型・A6型・A7型・P1型・P2型・P4型　※P1型・P2型・P4型は(　)寸法



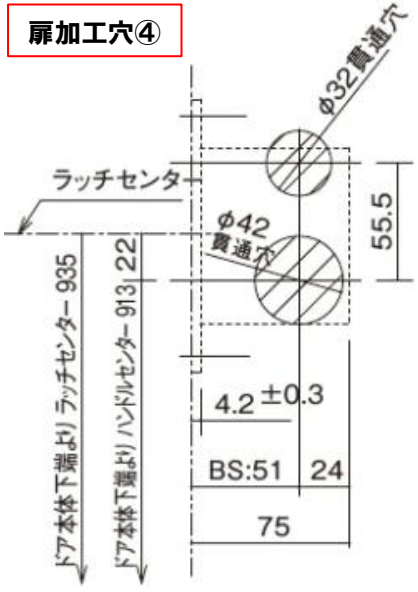
扉加工穴②



扉加工穴③

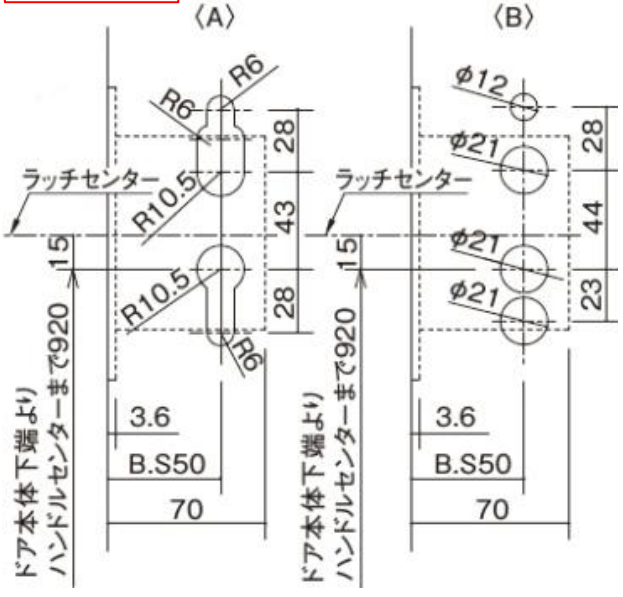


扉加工穴④

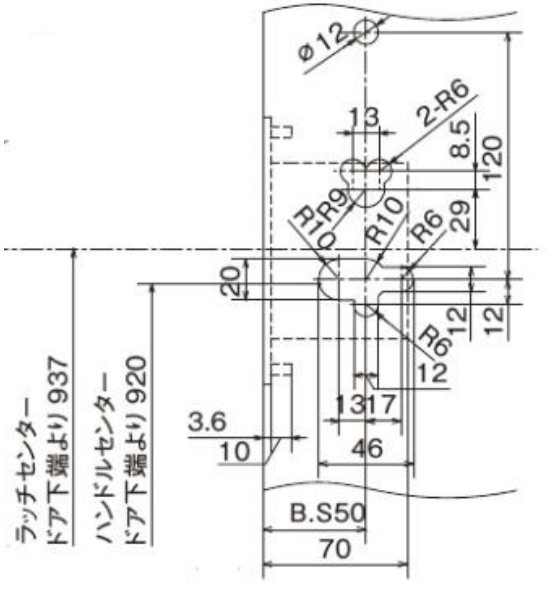


扉加工穴⑤

※扉デザインにより、A・Bどちらかの加工になります。

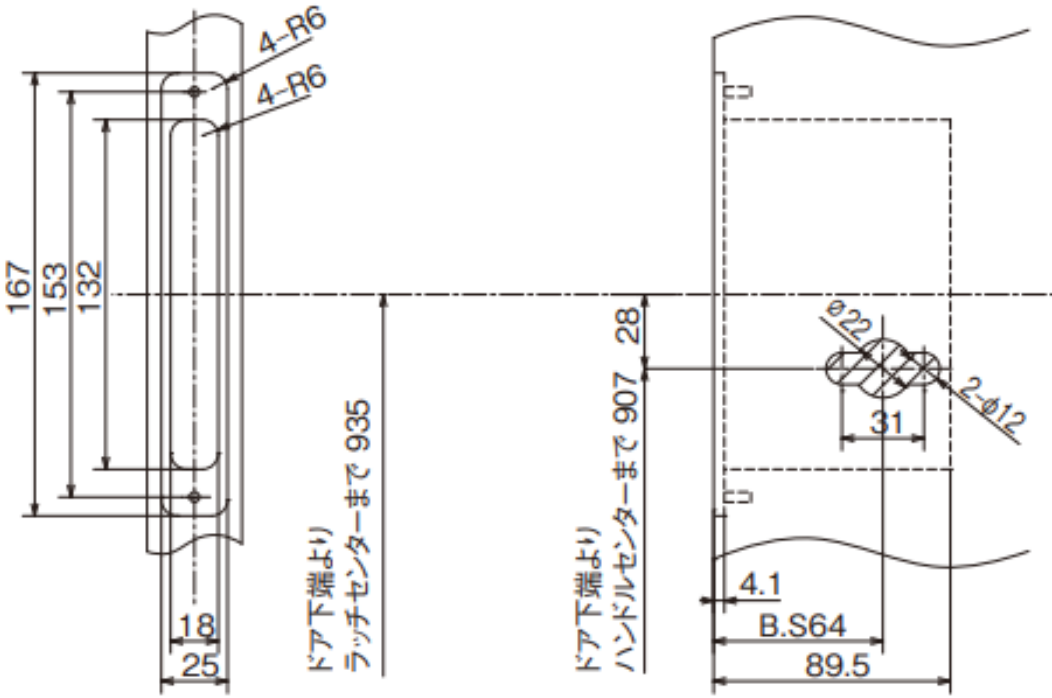


扉加工穴⑥



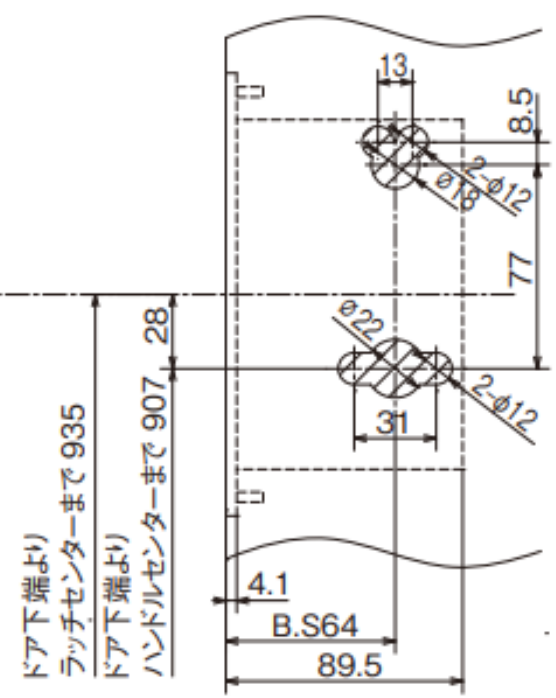
扉加工穴 詳細図

扉加工穴⑦



空錠用加工

扉加工穴⑧



表示錠･キー付錠用加工

専用のラッチプレート、ラッチケースのため、
他の加工への対応不可です